

“QCサークル活動” 導入のおすすめ

— 小冊子『現場力の強化に活かす小集団改善活動』のご案内 —

現場力を強くしたいなら

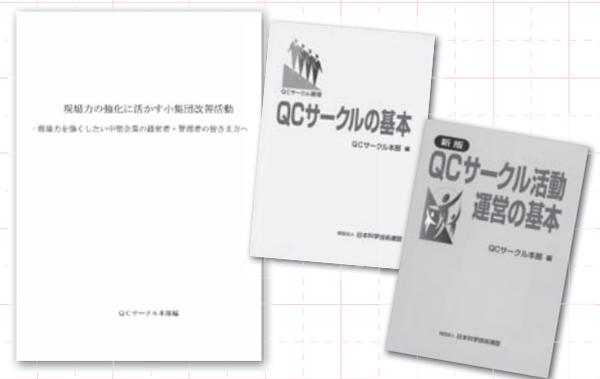
戦後の復興期にあたる1962年にQCサークル活動（小集団改善活動）は誕生し、日本の産業発展に大きな貢献を果たしてきました。そしてモノづくりの模範となり、世界的にも拡大。いまやその活動領域はモノづくりのみならず、事務・販売・サービス部門から医療、福祉、コールセンター、飲食業、さらには自衛隊などといった多種多様な業種や部門にまで広がっています。

QCサークル活動といえば、“資金的にも人材的にも余裕のある大企業がやるもの”—そんな誤解をしている方が、まだいらっしゃるのではないのでしょうか？ もちろん、そんなことは決してありません。

また、中堅企業では、「どのように進めていったらいいのか分からない」といったお話を聞くこともあります。そんな場合には、まずはこのパンフレットをお読みください。

ここでは、QCサークル活動にかかわり基本的なことをご紹介します。

現場力を強くしたいと望まれる中堅企業の経営者や管理者のみなさまがQCサークル活動に関心を持たれましたら、合わせて別途制作いたしました小冊子『現場力の強化に活かす小集団改善活動』も合わせてご一読ください。



■ QCサークル活動（小集団改善活動）とは？

QCサークルとは、第一線の職場で働く人々が、継続的に製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う小グループを指しています。このサークルの運営は、自主的に行うのが基本です。QCの考え方や手法などを活用しながら、創造性を発揮させ、自己革新と相互啓発をはかり、活動を進めていきます。

QCサークル活動の目的をまとめると、次のようになります。

- QCサークルメンバーの能力向上と自己実現
- 明るく活気に満ちた生きがいのある職場づくり
- お客様満足の向上と社会への貢献



“QCサークル活動”導入のおすすめ

— 小冊子『現場力の強化に活かす小集団改善活動』のご案内 —

なぜ、おすすめするのか

働きがいや明るく楽しい職場づくりに貢献できるから。

QCサークル活動は、現場第一線で働く人たちの能力の発揮、向上の場の提供につながります。活動の継続的な推進によってその能力はどんどん高まり、それが働きがいや明るく楽しい職場づくりに直結。企業の体質改善や発展にも寄与することになります。

期待できる効果、成果はこんなに多彩。

- 現場力(職場力)のレベルアップ
- 成果の出る仕事のやり方が、会社の財産として残る
- 職場内の人間関係やモラルの向上
- 自主性と創造性を発揮する人材が育つ

活動の手順や手法はすでに整っています。

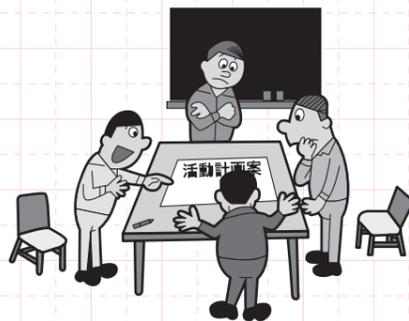
QCサークル活動は自分たちで問題を認識し、重要性や実行可能性などを評価したうえでテーマとして取り上げ、自主的に問題解決を進めていきます。その際に必要な解決手順やQC7つ道具といった手法などは用意され、幅広く活用されています。

経営成果にも直接つながります。

QCサークルの活動を通じて具体的に問題を解決していくことにより、原価低減、売上の向上、業務効率の改善など数字でとらえられる有形の効果、あるいは「人」や「組織」の向上といった無形効果が生まれます。これらを組織内で水平展開すれば、さらに成果は膨らみます。

ほかのカイゼン手法とも共存できます。

最近では各種の管理方式や全社活動が多くの企業で展開されているようです。ただ、すでにTPM、ISOシリーズ、シックスシグマ等を導入されていても、QCサークル活動はそれらの活動の効果をいっそう発揮させることにつながり、共存させれば相互の相乗効果を期待できます。



導入・推進のポイント

Point その1：経営者・管理者の理解と熱意

実際のQCサークル活動に取り組むのは、現場第一線の従業員たちが中心となります。しかし、とりわけこの活動の導入当初は、経営者や管理者の指導、支援、励ましが必要となります。そしてやがては、サークルの自主的な運営にゆだねるように、進捗状況に目を配る必要があります。

Point その2：経営者の役割

導入期

- 経営者がこの活動に対する思いや目的、活動内容の範囲などを明確に示し、第一線の従業員に語りかけることが大切です。
- 活動の推進組織を構築し、管理者のなかから活動に情熱を持つ者を推進責任者に指名。経営者自身も先頭に立って推進することを宣言します。
- 管理者に対し、QCサークル活動の時間や場所、道具等の確保に加え、サークル員への教育計画づくりを求めます。
- QCサークル活動の推進の成果を経営者自ら把握。その成果を共有する場として、発表会や大会を設け、活動への感謝や次への期待を明確に伝えます。

導入から数年後

- QCサークル活動の成果を、有形効果(改善件数、効果金額など)と無形効果(人材の成長、職場の活性化)波及効果(活動したために影響を受けた事項など)の両面から把握。マンネリ化も起こりやすいので、継続的な指導が欠かせません。
- 管理者に対し、すべてのサークルのレベル把握を行うように指示。実力に応じた育成計画を立てさせます。
- 他社の活動状況を把握し、自分たちの活動の参考とするため、外部の大会を積極的に聴講、あるいは参加して発表するよう、管理者に指示します。

10年経過以降

- QCサークル活動が自主的な運営になっているか自らの目で確かめ、10年、15年などの節目ごとに活動の方向を明示し続けます。
- QCサークル活動が自社の経営に不可欠であることを、社内に対し積極的に発信し続けます。

中堅企業が導入するまでのステップ

Start まずはトップの主導で

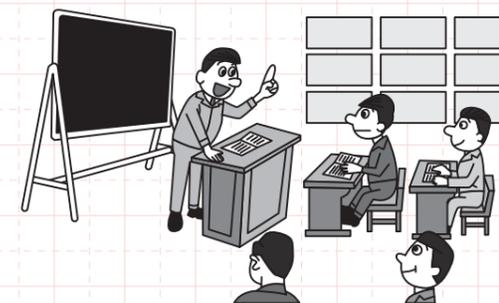
QCサークル活動が自然発生的にスタートすることはありません。導入と推進はトップの主導で初めて進み、その提唱と指導・支援によって導入されるものです。

導入時には職場第一線のリーダーを中心に小グループを形成させ、モデル的に改善活動を実施。活動の進め方、改善手法の活用、改善効果を体感させます。そして、改善体験事例の発表会をトップの主催で開催。達成感を企業内で共有させるとともに、QC的なものの見方、考え方とスキル向上の機会を積極的につくっていきます。



第1 Step 熱く語り、導入宣言を

QCサークル活動先進企業の推進・運営事例を参考にして、トップが「いまなぜQCサークル活動を導入するのか」を熱く語り、活動の導入宣言を行います。そして、上記のようにモデル的な活動を実施し、4~6か月後に活動と成果の発表の場を設定。このような場を通じて、活動にあたっての考え方や進め方、改善手法などの教育、訓練をしていきます。



第2 Step 近くのQCサークル支部、地区を活用

QCサークル推進組織(支部、地区)が全国にあります。そこには本部認定指導員、本部認定講師、QCサークル指導士、QCサークル上級指導士など、導入の際に指導、支援ができる人材がそろっています。支部、地区の役員などと気楽にご相談のうえ、積極的に活用されることをおすすめします。

また、全国のQCサークル推進組織を通じて、さまざまな業種の企業・組織と情報の共有化が図れます。

QCサークル活動の基本理念は、この3つです。

1
人間の能力を発揮し、
無限の可能性を引き出す。

2
人間性を尊重して、
生きがいのある
明るい職場をつくる。

3
企業の体質改善・
発展に寄与する。

《QCサークル活動の歴史》

産業界の第一線職場で働く人たちの強い要望に応え、現場における品質管理の普及を目的とした月刊誌『現場とQC』（現：『QCサークル』誌）が、1962年4月に創刊。これとともに、QCサークル活動は始動しました。

誕生時の活動のねらいは、次のようなものでした。

- (1) 現場の第一線監督者のリーダーシップ、管理能力の向上を目的とし、それを自己啓発によって達成するように進める。
- (2) 作業員まで含めた全員参加のもと、QCサークル活動を通じて現場におけるモラルを高める。そして品質管理が現場の末端まで徹底して行われるようにする。その基礎として、品質意識、問題意識、改善意識の高揚をはかる。
- (3) 全社的な品質管理活動のひとつとして、現場第一線の核となる活動にする。社長、工場長などの方針の徹底とその実現のための活動として、あるいは現場での管理の定着、品質保証の達成の面でも有効な活動にする。

かつては製造現場の品質管理、作業改善が主な対象分野でしたが、その後、活動分野は大きく拡大。事務・販売・サービスなどの間接分野へと波及し、いまではサービス産業でも広く導入されるようになっていきます。

従来、製造関連の全日本選抜QCサークル大会に付随される形で開催されていた事務・販売・サービス部門（JHS）の大会も、2011年度からは単独への開催へと移行。この分野での取り組みは、いっそう強化されています。

■さらに、QCサークル活動についてくわしくお知りになりたい方は、

ぜひ『現場力の強化に活かす小集団改善活動』をご覧ください。

この小冊子では、QCサークル活動を導入した好事例も複数ご紹介していますので、

これから導入をご検討される場合の参考にさせていただけるはずです。

下記ホームページからもダウンロードできます。

お問い合わせ先

財日本科学技術連盟内 QCサークル本部事務局

TEL：03-5378-9815

FAX：03-5378-9843

Eメール：juseqccd@juse.or.jp

ホームページ：http://www.juse.or.jp/qc/128/